



本社工場



お弁当 (左) スクールランチ (中) おせち (右)

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
辻本 晴彦

私たちは、安全・安心で美味しい『食』の提供を通じて、人々の豊かな生活と健康、そして地域社会の発展に貢献します

創業以来一世紀、私たちは『食』の可能性を追求し、地域社会と共に歩んでまいりました。現在、大阪府における中学校給食の課題解決という大きな社会的使命に応え、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えることを、私たちの新たな成長の原動力と位置づけます。長年培ってきたクックチル技術のパイオニアとしての誇りを胸に、豊中新工場への戦略的投資を通じてこの使命を全うするとともに、高齢化社会を支える健康食分野へも事業を拡大し、10年後の2035年に売上高100億円超を達成することで、従業員、お取引先様、そして地域社会全体の幸福と持続的な発展に貢献することをお約束いたします。この100億円ビジョンは、そのための道しるべです。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

豊中新工場を核とした学校給食事業の飛躍的拡大（目標44億円）を最大の牽引力とし、ケータリング事業（高齢者食中心に目標35億円）、道の駅や農業公園運営などの指定管理事業（目標17億円）を着実に成長させ、2035年に全社売上100億円を達成する。

課題

- ・多様な学校給食ニーズ（アレルギー対応、食育等）への的確な対応
- ・新工場におけるクックチル技術の最適運用と自動化・省人化設備の安定稼働による生産能力向上
- ・高齢者向け健康食市場における新規顧客開拓と商品開発力の強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

1. 豊中新工場（クックチル対応・自動化推進型セントラルキッチン）の建設とフル活用による生産能力の抜本的強化
2. クックチル方式による最適な学校給食ソリューションの積極提案とPFI方式を含めた大型案件の獲得
3. クックチル技術と栄養管理ノウハウを応用した、高齢者施設・病院向け高品質健康食OEM供給の本格展開
4. AGV、ロボット連携エレベーター等の導入による工場内物流の自動化・省人化の徹底と労働環境改善

実施体制

- ・社長直轄の『100億円ビジョン推進プロジェクトチーム』の設置
- ・各事業部門との連携強化とKPIによる進捗管理
- ・新工場運営を中心とした生産部門の組織再編と専門人材（クックチル技術者、設備保全担当等）の配置・育成
- ・従業員のスキルアップ研修とモチベーション向上施策の実施

- 本社所在地：大阪府高槻市大塚町5-21-1
- 事業概要：学校給食事業、企業・団体向けケータリング事業、指定管理事業（道の駅運営等）、自社ブランド冷凍食品の開発・製造・販売など
- 常時使用する従業員数：244名（2025年3月時点）
- 現在の売上高：21.8億円（2025年3月期）
- 法人番号：8120901013535
- Web：https://www.ichifuji-c.co.jp/

売上高100億円実現の目標



中核となるのは2027年8月予定の豊中新工場の建設と本格稼働であり、これを原動力として各事業を成長させます。最大の牽引役は学校給食事業であり、目標44億円を掲げています。次いで、高齢者食を中心としたケータリング事業35億円と、それぞれ大きな成長ドライバーとして位置づけています。さらに、道の駅や農業公園運営などの指定管理事業（目標17億円）も着実に成長させ、これらの事業が多角的に全社売上を押し上げることで2035年に100億円の目標を達成し、従業員、お取引先様、そして地域社会全体の幸福と持続的な発展に貢献することを目指します。